

金閣寺 ルートマップ



- ① 京都駅玄関口「京都駅」スタートの場合
- ② 繁華街「四条駅」スタートの場合
- ③ 金閣寺から嵐山へ行く場合
- ④ 金閣寺から銀閣寺へ行く場合
- ⑤ 金閣寺から二条城へ行く場合

凡例 ●●●●● 徒歩 ——— バス - - - 電車



金閣寺の周辺は
見どころがいっぱいだね!

正式名称は鹿苑寺。もともと貴族の山荘だったところを室町時代に足利義満が譲り受けて北山殿を造営し、義満死後に臨濟宗寺院となりました。その象徴ともいえる金閣(舍利殿)は、寝殿造と武家造、禅宗仏殿造という3つの様式がみごとに調和し、黄金の輝きを放っています。



左大文字が
真正面に見えます



コラム1 お地藏さんの祠

京都市中心部のいたるところにある祠には、町内ごとにまつられているお地藏さんがいます。祠の形もさまざまです。子どもの守り神なので、見つけたらお参りすればいいことがあるかも。

今宮神社「目の出るだるま守」

一見普通のだるまさんのお守り。実は変わり種。目が飛び出るようになっていて、「芽が出る」とかけて、開運や出世の御利益があるお守りとして人気です。勉強運アップもこればっちり。

今宮神社のあぶり餅

今宮神社の参道を挟んで向かい合う2軒のお店では、それぞれ名物のあぶり餅だけ売っています。小さく切った餅を竹串に刺し、炭火であぶったものに白味噌だれをつけたもので、各店伝来の味を楽しめます。

平安京造都の際、四神相応の玄武に位置するところ。枕草子にも登場する古来からの景勝地で、現在は史跡公園。

市内を一望できます

上品蓮台寺

百人一首の歌人としても知られる小野篁ゆかりのお寺で、本堂には高さ2.4mの間麗大王座像を安置。

室町時代に七軒の茶店を建てて北野天満宮の参詣人の休憩所としたのが名前の由来。京都で最も古い花街(芸妓・舞妓が出入りするお茶屋が集まる地域)といわれ、一帯は景観整備地区に指定されています。

1227年に建立された当時のままの姿を留める本堂は、京都市内最古級の木造建築物で国宝。快慶や定慶などが作った仏像を間近に見学できます。

足利尊氏が創建した寺院で、歴代の足利将軍の墓と像があります。

学問の神様 菅原道真公をまつる全国天満宮総本社。入試合格・学業成就・厄除祈願などの信仰が厚く、天神信仰発祥の地として親しまれています。社殿は国宝に指定され、境内には約1500本の梅がむくむく京都屈指の梅苑を有しています。また境内各所には神使とされる牛の像が多数奉納されています。

天下統一を果たした豊臣秀吉が、京都の都市改造の一環として設けた土塁。当初は全長22.5kmありましたが、江戸時代以降の都市開発でだんだん取り壊されていき、現在は市内数カ所に一部が残っているのみで10箇所が史跡に指定されています。



豊臣秀吉が織田信長の葬儀を行ったほか、一休和尚や千利休など、歴史上の著名人とゆかりのある禅宗寺院(小寺院)があり、このうち4寺が常時拝観できます。山門である金毛閣の上層にはかつて、秀吉の怒りを買い、その後切腹を命じられるきっかけとなった千利休の木造が置かれていました。

コラム2 鐘爐さん

江戸時代後期から、厄除けのために家の入口付近の屋根に置かれるようになった「鐘爐さん」が、京都の街のあちこちで見られます。姿や顔が少しずつ異なるので、見て歩くのも楽しいでしょう。

明治天皇の命により、織田信長を称えるために建立した神社。木造の大鳥居(高さ7.2m)は、国の登録有形文化財。

大正時代創業の料理旅館の附属浴場が、後にお風呂屋さんとなりました。内装には、明治~大正期の西洋建築によく見られるマジオリカタイルや、手の込んだ欄間など豪華な装飾が施され、国の文化財にも指定されています。

苦しみを抜き取ってくれるお地藏様をまつることから、「苦抜地藏」がなまって「釘抜地藏」と呼ばれるように。

石像寺(釘抜地藏)

応仁の乱で西軍の大將となった山名宗全の邸宅跡。西軍の本陣だったこの地域が、のちに「西陣」と称されるようになりました。

けまり蹴鞠の守護神をまつることから、サッカーをはじめとする球技全般や各種スポーツの御利益を求めて多くの参詣者が集まります。日本代表選手から奉納された公式球など、さまざまな競技のボールがお堂に並んでいます。

1227年に建立された当時のままの姿を留める本堂は、京都市内最古級の木造建築物で国宝。快慶や定慶などが作った仏像を間近に見学できます。

京都市内の発掘調査による出土品を収蔵・展示する施設。

呉服問屋の本店として明治18年に建てられた町家の姿をそのままに伝えており、国の登録有形文化財にも指定されています。町家見学とあわせて京都のしきたりを学ぶ体験や、着物の着付け、お茶席の体験もできます。

安倍晴明をまつる神社で、平安時代に陰陽師として活躍した晴明の屋敷跡だったところに社殿が建っています。鳥居の額や境内のいたるところで見られる「晴明栞」(五芒星とも呼ばれる)は、厄除けの呪符としても知られます。

